



マスコット やはりん

農業活動での汗を感動へ ~実習による成就感と達成感~

■玉川保育園との交流活動 (システム園芸科)

10月28日(火)、2年システム園芸科「生物活用」の授業で、玉川保育園の皆さんと交流活動を行いました。生徒は5月に園児と一緒に植えたサツマイモの生育の様子や収穫の方法を説明したあと、大きく育ったサツマイモを収穫しました。中には、園児の顔ほどある大きなサツマイモを掘り当てた園児もあり、楽しく交流することができました。

授業では交流活動の運営や園児との応対を振り返り、改善点や工夫すべき点を話し合って、今後の学習活動にいかしていきたいと思います。



■キノコ生産を研究 (森林科学科)

キノコは、特用林産物（森林から得られる木材以外の林産物の総称）の1つで林業の貴重な収入源です。森林科学科は、クロアワビタケの栽培を令和元年度から実施し、7年目の今年度も栽培を継続研究して行っています。

森林科学科ではクロアワビタケ以外に、シイタケやマイタケの栽培もスタートしました。学校内の限られた施設ではありますが、工夫をしながら栽培管理を行っています。徐々に収穫量が増えていき、森林科学科で栽培しているキノコはおいしいと思ってもらえるようになることを目標に、今後もキノコの管理办法の研究していきたいと思います。



■測量結果をCADで作図 (環境土木科)

3年生は卒業まで残り僅かとなっていましたが、課題研究・総合実習では、各班が様々なプロジェクト学習に取り組んでいます。今回は、校内の詳細図をCADで作成する測量の研究グループを紹介します。

フランス式庭園の細部測量後、CADの作図が完成しました。現在は自然風庭園の詳細図を描く為、測量を行っています。測点の数が多く、正確さが要求される作業です。外での作業は寒さが厳しく手がかじかむ季節となっていましたが、より良いものを後輩に残すために頑張っています。授業の回数も残りわずかですが、CADの作図が完成するように急ピッチで取り組んでいます。



■寄せ植え盆栽、正月飾りを作る（造園緑地科）

2025年も残すところわずかになってきました。年末年始は、クリスマスや正月などの年中行事があります。造園緑地科ではクリスマスや正月に向けて「寄せ植え盆栽と正月飾りづくり」に挑戦しました。

寄せ植え盆栽は、松、南天、葉牡丹などを使い、和の雰囲気を感じてもらうために寒水石と苔を使いました。植栽のバランスをとるのに苦戦しましたが、きれいな作品を作ることが出来ました。

また、クリスマスの寄せ植え盆栽でコニファーと南天を使いました。正月飾りでは竹や石で蹲を作りました。和の折り紙を使い華やかさを出したり、竹をあぶって油を出して磨いたり、生徒はとても楽しそうに作っていました。



■山梨学院短期大学との連携事業（食品科学科）

食品科学科と山梨学院短期大学食物栄養科との連携事業も8年目となり、出前講座、製菓実習、収穫感謝祭参加を継続的に実施しています。また高校卒業後、数名が進学しています。今年度は7月に鈴木睦代先生による講義「勉強・スポーツのパフォーマンスupをサポートする栄養学について考えよう」（写真）、8月に学院短大調理室で「山梨果物のカスタードクリームタルト、トマトチーズのパスタ」実習、11月に収穫感謝祭で本校卒業生が考案・製造した「生キャラメルクッキーサンドの販売」を実施しました。調理実習、販売とも食品科学科の卒業生が参加し、生徒と交流を持つことができました。今後も連携を継続・発展させていきたいと考えています。



■農業クラブ全国大会の開催（農業クラブ）

日本学校農業クラブ全国大会は、「農業系高校の甲子園」とも呼ばれる農業クラブの最大の行事です。10月22・23日、全国大会は、山梨県・東京都・神奈川県で開催され、全国から多くのクラブ員を迎えることができました。農林高校は農業鑑定競技会の会場として、約1,000名の選手と300名の引率の先生が集まりました。



生徒の活動はこちら

